

大切な「日常」

池田小5年

森田 結衣

「二平方メートルの世界で」という本を知っていますか。この本の主人公は生まれつき病気で、小さいころから入院して

います。もし、みなさんがたて2畳、横1畳のベッドで長い時間過ごすことになったらどんなことを感じますか。

この子は、病室から空

を眺めながら、自分は今んなのいる場所とは違う所にいるんだ、やりたいこともあきらめないといけないんだと、悲しみでいっぱいでした。この子の気持ちを考えるととてもつらくなります。

私にとってはみんなとこの本を多くの人に読ん楽しく過ごす毎日が日常でほしいです。でも、そんな日々が、この子にとってどんなに幸せなことなんだろうと思います。

この本は私に、日常のありがたさと幸せの意味を教えてくださいました。そして、当たり前の日常に感謝して、苦手なこともあきらめず挑戦する大切さに、改めて気づかせてくれました。だから、

令和4年11月30日(水)
南日本新聞掲載

(錦江町)